

令和4年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
1	“医療の仕事”魅力発信事業	小学生(高学年)、中学生、高校生を対象に、看護職員による出前講座や医療機関における看護体験、様々な医療職種について紹介するオンライン医療教室といった体験型の事業を実施し、医療職種の魅力を発信する機会を創出する。	医療人材対策室	7,229	7,229
2	ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト(情報発信プロジェクト)	中高生を対象にしたビブリオバトル福島県大会を通して、県民に対し、広く読書活動についての理解を促進するための普及・啓発活動を実施。表現力や発信力など主体的に考え・判断し、行動する力を育成し、復興を担う人材育成の一助とする。	社会教育課	1,063	1,063
3	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	子どもたちが様々な体験から得た思いや感動を、身近な人と共有し十七音で表現しあうことで、安心感や自己肯定感を育む。また、震災体験やそれを乗り越えてきた気持ち、ふくしまへの思い等を綴った作品を詠んだり、「ワークショップ」で思いや体験を共有したりする活動を通して、震災の記憶の継承と心の復興の一助とする。	社会教育課	2,286	2,286
4	理数コンテスト事業	「福島イノベーション・コースト構想」を周知し、福島の将来への夢や憧れを膨らませる。算数・数学、理科への興味、関心を高め、自分の力を試したり、知見を広げたりするために、論理的な思考力・科学的思考力を問う問題に挑戦する機会や先端技術に触れる機会を設ける。	義務教育課・高校教育課	935	935
5	AI時代を生き抜く読解力向上事業	児童生徒は、リーディングスキルテスト(RST)を通して、自己の基礎的・汎用的読解力を客観的に認識する。研究協力校は、児童生徒の読解のつまずきに応じた指導を通して、「教科書を正しく読む力」を土台としたAI時代を豊かに生きる力を育成し、学力向上につなげていく。	義務教育課	5,479	1,679
6	工業人材スキルアップ応援事業	ロボット競技大会に出場する工業高校や工業科設置校において、先端技術を含む総合的な知識や技術をいかしたより高度なロボットの製作等を通して、将来の地域産業やふくしまの復興を担う優れた工業人材の育成を図る。	高校教育課	3,684	3,300
7	専門高校生による小中学生体験学習応援事業	県内6地区を対象に、小中学生が専門高校を訪れ、専門高校の授業や実習に触れる。その中で、小中学生が専門高校の学習活動への理解を深め、進学の意欲を高めるとともに、高校生にとっては、学習内容と将来設計の関連性を再認識し、講師や実習の補助等を行うことにより、自身の誇りを持つことにつながる。この一連の効果によって、福島の将来を担う児童生徒の夢の実現につなげる。	高校教育課	4,279	4,105
8	地域との協働による高等学校教育改革推進事業	グローバルな課題である原子力災害からの復興と新たな地域社会の創造をテーマとして、地域の課題解決に向けた探究・実践と海外研修を実施し、持続可能な地域づくりに貢献することで、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材の育成を図る。	高校教育課	11,262	3,660
9	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業	将来、本県復興を担う福島の高校生が、故郷である福島について世界の人々に英語で的確に伝えられるよう深く学習する姿勢を育むとともに、海外研修で学んだ見識を、本県復興のために積極的に提言できるような高いコミュニケーション能力をもったグローバルな人材を育成する。	高校教育課	15,250	12,000
10	コミュニケーション能力育成事業	演劇や哲学対話による表現活動を通して他者を理解する力や自己肯定感、自己表現力を育むとともに、主体的・対話的で深い学びを促進することで学力向上を図る。	高校教育課	4,515	4,515
11	統合校魅力強化発信事業	県立高等学校改革前期計画により統合校の魅力化を図る取組を行う。 また、学んだことを地域に発表し、意見交換をする機会を設けることにより、高校生と住民の相互理解を高め、統合校が地域から高い評価を得る取組を行う。	県立高校改革室	7,317	3,260
12	夢に向かってテクノチャレンジ事業	特別支援学校高等部生徒の活躍の場を設け、働く意欲や向上心を高めるとともに、高等部卒業生の就職率、職場定着率の向上を図る。	特別支援教育課	4,368	4,039
13	元気なふくしまっ子食環境整備事業	学校給食における地場産物の活用については、原子力発電所事故に伴う放射線の健康影響に関する不安がまだにある。そこで、小中学生を対象に地元の農産物を活用した料理コンテストを開催し、入賞したレシピを広く県民に発信することにより、子どもたちの食べる力の育成や地元の食材に対する理解を深め、地場産物の活用率の向上につなげる。	健康教育課	1,317	837

令和4年度当初予算 福島県東日本大震災こども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
14	体力向上ムーブメント事業	東日本大震災後、県内の子どもたちは、屋外での活動制限を受け、震災後急激に体力が低下するとともに、肥満傾向出現率の増加という健康課題が生じた。そこで、なわとびコンテストを実施し、子どもたちの日常の運動機会を確保し、健康課題の解決を図る。	健康教育課	1,113	613
15	JFAと連携した人材育成事業	①JFAトップコーチ派遣事業 ふたば未来学園高校サッカー部へ指導者を派遣し指導にあたることで、アカデミー卒校生を始めとする県内の有望選手の受け皿を創出し、ユース年代の育成環境の整備を図る。 ②サッカーを通じた地域連携事業 JFAアカデミー福島が持つ知見を活用し、メンタルやフィジカルはもちろん、日常生活の立ち振舞いなど、トップオブトップを育成するレベルの高い教育プログラムを県内の子どもたちが体験する機会を設けるとともに、県内外のチームや地域住民と交流を深める機会を設けることで、サッカーを通じて広い視野を持った人材の育成を図る。	地域政策課	27,304	26,915
16	県内サッカー裾野拡大推進事業	県内の子どもたちを対象に、サッカーを通じた交流会・体験事業等を実施することで、サッカーを始めとするスポーツに触れる機会をつくるとともに、県内サッカーの振興を図り、サッカーを通じた子どもたちの心身の充実や健全育成を図る。	地域政策課	4,739	4,693
17	ふくしまプロスポーツ地域活力創出事業 (ふくしまの夢応援事業)	県内に拠点を置く各プロスポーツチームと連携して、子どもたちが選手等から技術や教養を学ぶことができる事業やスポーツ教室等を実施し、スポーツに親しむ機会を創出することで、子どもたちの夢の実現につなげるとともに、心と身体の充実や福島への愛着心の醸成を図る。	地域政策課	25,135	24,704
18	eスポーツを活用したICT人材育成	中高生年代の生徒に対し、生徒らが親しみやすい「eスポーツ(ゲーム)」をきっかけとして、プログラミングの基礎を学ぶ体験講座を実施し、ICT先進地である会津を始めとした県内で活躍するデジタル人材の育成を図る。	地域政策課	2,250	2,250
19	子ども・若者「地産地消」プロデュース事業	県内の子どもを対象に、地域資源をいかした取組や県産品の魅力、「地産地消」の取組が地域にもたらす恩恵について実感してもらう機会を創出することで、「地産地消」の実践につなげ、ふくしまに対する愛着心の醸成を図る。	地域振興課	5,068	4,465
20	子どもの夢を応援する「ダイヤの原石発掘トライアウト」	国内最高レベルの天然芝ピッチを有する「ヴィレッジ」を舞台に、国内・海外クラブと連携したトライアウト(U15対象セレクションイベント等)を実施する。	エネルギー課	19,992	19,992
21	東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業	福島県内の小中学校、高校の児童・生徒が、各教科、特別活動等の教育課程の中で、伝承館を活用して行う学習活動に対して、一定の限度内で補助を行う。	生涯学習課	36,894	35,224
22	ジャーナリストスクール開催事業	未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興のために活躍している個人、団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材をし、新聞記者等の指導を受けながら、新聞にまとも、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会とする。	生涯学習課	6,346	300
23	アートで広げる子どもの未来プロジェクト	福島県の未来を担う子ども達に将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、県内の小中学校等に、県内外で活躍する本県ゆかりのアーティストを講師に招き、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを開催する。	文化振興課	8,954	8,954
24	ふくしま「若者×メディア芸術×デジタル」推進事業	県内の若い世代を対象に、デジタルツールを活用したメディア芸術をテーマに公募展覧会を開催するほか、特別講義やワークショップを通じてメディア芸術への関心を高め、青少年の文化活動の支援及び人材育成を図る。	文化振興課	13,959	13,873
25	輝け未来へ！スマイルスポーツ教室inふくしま	県内の子どもたちを対象とした、オリンピック・パラリンピック競技種目をはじめとした関心の高い種目のスポーツ体験教室を開催し、子どもたちの将来の夢や希望を育むとともに、スポーツのもつ価値や魅力・身体を動かす楽しさを伝え、より一層のスポーツ活動への参画や運動習慣の定着を促す。	スポーツ課	9,372	9,372
26	あづま球場聖地化事業	無観客開催のため、オリンピックの野球・ソフトボール競技を観戦できなかった県内の子どもたちを「日米対抗ソフトボール2022」に招待することにより、夢や希望を育む機会を創出するとともに、スポーツによる交流人口拡大を図り、オリンピックの会場である県営あづま球場の聖地化を目指す。	スポーツ課	20,045	2,100

令和4年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
27	只見線を活用した学びの場支援事業	水力発電ダムや選炭土木遺産に認定された橋りょうなどのインフラ設備、電源開発の歴史、地域の食や文化といった本県が誇る奥会津地域の魅力を学びの場として提供し、県内の小学校及び特別支援学校を対象とした只見線を活用する学習列車を実施する。	只見線再開準備課	11,814	11,462
28	子どもを守る情報モラル向上支援事業	家庭や学校で子どものインターネット利用に関する基礎知識の習得度合いと利用状況を把握し、その向上と改善を図る支援システム「ふくしま情報モラル診断(仮称)」を開発、運用する。	子ども・青少年政策課	36,080	36,080
29	子どもの夢を応援する事業 (子どもの将来応援事業)	子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、支援を必要としている家庭に支援情報を届けるためのリーフレット及びガイドブックを作成・配布するとともに、ウェブサイト上の情報発信を行う。	子ども・青少年政策課	3,446	3,446
30	地域で支える子育て推進事業	地域全体で子育てを支援する機運の一層の向上を図るため、民間団体や市町村から企画提案を公募し、経費を補助する。	子ども・青少年政策課	22,724	22,724
31	ふくしま保育環境向上支援事業 (保育所等課題解決支援事業・保育所等における環境改善事業)	保育所等において、自然体験活動の実施や県産材を活用した遊具の購入、「ピオトープ」や「築山」の整備等の環境改善を行う場合、その費用の一部を補助する。 また、必要に応じて専門家による助言・指導を行い、より効果的な保育の質の向上・環境改善が図られるよう支援する。	子育て支援課	8,325	8,325
32	子育て世代包括支援センター機能充実事業	東日本大震災後、県内の産婦の産後うつ傾向が全国平均より高くなっている。妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターにおいて、全妊婦を対象に物品を配布しながら、支援が必要な家庭の早期把握・早期支援を行う。	子育て支援課	4,723	4,713
33	子どもの目を守る健診体制強化事業	3歳児健康診査において視覚検査の屈折検査を導入し、治療可能な弱視を早期治療につなげるため、検査未実施の市町村に対し、県が検査機器を貸し出し、屈折検査導入に向けて普及啓発を図る必要がある。	子育て支援課	3,800	3,800
34	リトルベビーハンドブック活用事業	低出生体重児を出産した保護者の不安等を軽減するために、リトルベビーハンドブックを作成して配布する。	子育て支援課	504	504
35	児童養護施設等入所児童自立支援事業	児童養護施設等に措置されている児童のうち、就職により退所が見込まれる児童で保護者からの経済的援助が望めない児童の運転免許の取得費用を補助する。	児童家庭課	4,500	4,500
36	子どもの夢を応援する事業 (未来に進もう！子どもの夢応援事業)	児童養護施設等を退所する児童のうち、保護者からの経済的な支援は望めないが進学を希望する者に対して支援給付金を支給することで、大学等への進学を支援する。	児童家庭課	24,667	24,667
37	子どもを守る地域ネットワーク推進事業 (子どもを守ろう！見守りサポーター養成事業)	児童虐待対策について、県民に対する普及啓発や子ども本人に権利意識や虐待から身を守る方法を伝えるため、CAP(子どもへの虐待防止プログラム)を実施する。	児童家庭課	5,910	5,910
合 計				376,448	328,294